

(別紙4(2))

事業所名 恵みハウス

目標達成計画

作成日: 平成 26 年01月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 12	介護業務の申し送りや理解の徹底が難しい	介護業務の申し送りや内容の重要性を理解して仕事に当たることができるように努める。	申し送りノートはもちろんのこと毎朝のミーティングで繰り返し説明する。外国籍の職員は懸命に言葉を覚えようとしているが、日本の文化や常識を理解できるよう、通訳できる2名のスタッフが繰り返し説明していき周りの日本人が支えていく	12ヶ月
2	13	介護の仕事に理解と責任を持つことが難しいことがある	介護の仕事が身に付き、ゆとりをもって業務にあたれるよう努める。	利用者様の喜ばれること、本当の思いなど情報を言葉だけでなくボディランゲージでもいいからスタッフ間で共有できるようリーダー中心に情報をまとめて現場で工夫し管理職もすすんで時間を作り、一緒に工夫に加わる	12ヶ月
3	21	認知症の方たちの共同生活でコミュニケーションがうまくいかないことがあるので業務上の気のきいた工夫が要る	グループホーム全体の雰囲気やゆとりをもって調整できるよう介護に努める。	リーダー中心に問題点を考えたり、工夫、ヒントを話しあったり、日本語のウイットな使い方を外国籍の職員に教えたり、逆に外国籍の職員からの情報もボディランゲージでも日本人に分かるように教えてもらったりして行く	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。